

■ 工事によるお客さまへのご迷惑を最小限とするための取り組み

1. 工事規制計画の工夫

(1) 工事期間の設定

工事期間を設定するにあたり、交通への影響の大きい他の工事や交通量が増加する年末年始と重複しない実施期間・数量を設定させていただきました。

(2) プレキャスト製品の活用

工事期間を短縮するため、新しい床版は、工場で製作した製品（プレキャストコンクリート製品）を用いて工事を実施させていただきます。



現場打ち床版の施工状況



プレキャスト床版の施工状況

(3) 工事の集約による交通規制回数の抑制の工夫

本工事と併せて道路の維持修繕作業や点検作業などを実施することで工事を集約し、交通規制回数を削減できるよう工夫しています。

2. お出かけ前のお客さまへの情報提供の強化

お出かけ前に工事区間の高速道路状況をご確認いただくために、中央道リニューアル工事専用 WEB サイトにおいて、最新の工事規制および工事状況について情報提供させていただきます。

工事期間中は、土・日・祝日を中心に渋滞が予想されますので、お出かけ前に中央道工事専用 WEB サイト・ポスター・リーフレットなどの情報を参考にいただき、お出かけ時間の変更や、場合によっては一般道などをご検討いただき、余裕を持ってお出かけいただきますようお願いいたします。

<リニューアル工事専用 WEB サイトにおける主な情報提供の内容>

(1) 工事期間中の渋滞予測のご提供

◎ 渋滞予測カレンダーのご提供

工事期間中に予測されている渋滞情報をカレンダー形式でご提供させていただきます。

なお、最新の渋滞予測は専用 WEB サイトで随時更新してまいります。

(2) 最新の通過所要時間のご提供

走行ルートを選択やお出かけ時間の変更をご検討をしていただけるよう、最新の所要時間情報をご提供させていただきます。

① 現在の所要時間検測

出発 IC と到着 IC を入力していただきますと、現在の所要時間をご確認いただけます。

(専用 WEB サイトでの掲載イメージ)

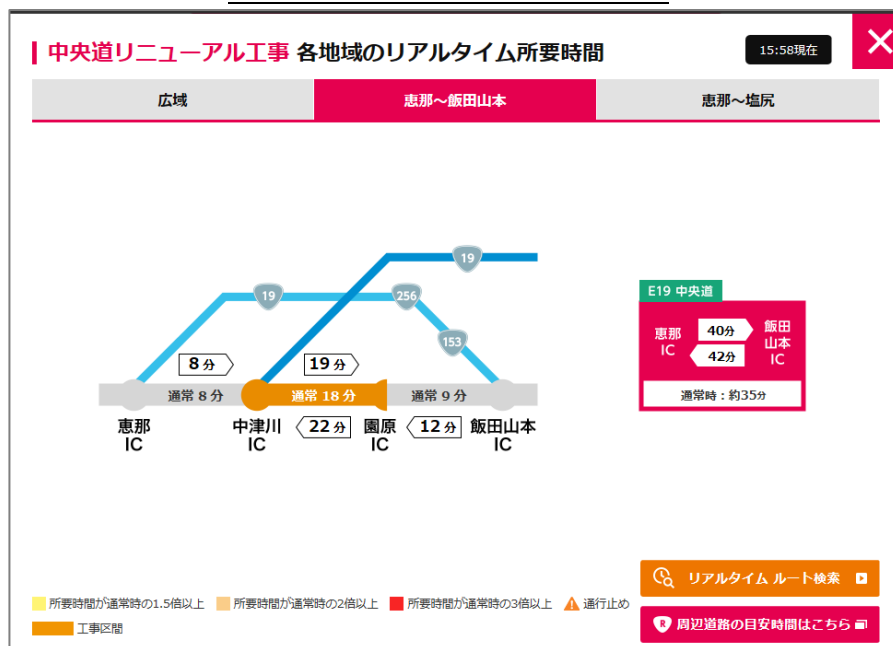


※所要時間は、交通状況の変化などにより実際の所要時間とは異なる場合があります。

② 工事区間周辺の通過時間情報

工事区間周辺の所要時間をご確認いただけます。

(専用 WEB サイトでの掲載イメージ)



(3) 主な迂回ルートのご案内

土・日・祝日を中心に渋滞が予想されますので、迂回ルートの走行をご検討いただけるよう主な迂回ルートをご提供させていただきます。

3. 高速道路をご走行されているお客さまへの情報提供の強化

(1) 高速道路上での情報強化

工事規制区間の交通情報（渋滞長や通過時間）を、仮設情報板によりお客さまへ情報提供させていただきます。

(仮設情報板による交通情報提供のイメージ)



(2) 迂回路となる一般道での情報強化

主要道路沿線の「道の駅」などに工事専用 WEB サイトを案内するポスター・リーフレット・仮設情報板などを設置します。工事専用 WEB サイトでは、最新の交通状況などを提供しておりますので、迂回ルートのご選択の際にご活用ください。

■ 安全に高速道路をご利用いただくための取り組み

1. 工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故の防止

(1) 渋滞末尾警戒車の配置

工事規制箇所や渋滞末尾での追突事故を防ぐため、渋滞状況に応じて、適切なポイントとタイミングで注意喚起をおこなうために、工事規制箇所の手前もしくは渋滞末尾付近の路肩に標識車を配置させていただきます。

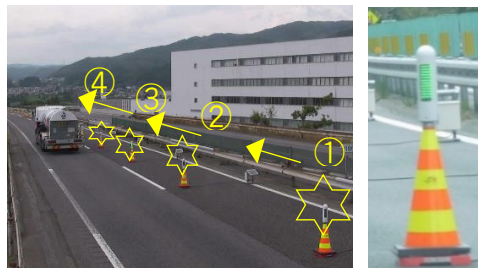
(渋滞末尾警戒車の配置例)



(2) 対面規制区間の規制テーパー部の事故対策

二車線から一車線に車線数を変更する区間に、視線誘導となるライトを設置し、光の流れにより視線誘導を促します。

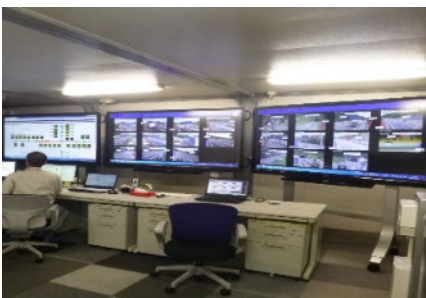
(視線誘導の設置例)



(3) 事故発生時の早急な対応

きめ細かな情報提供とお客さまの安全のために交通規制区間に設置した渋滞計測機器を活用し、24 時間体制で道路状況を監視するとともに、特設情報板や渋滞末尾警戒車でお客さまへリアルタイムの情報をお知らせいたします。また、万が一の事故に速やかに対応できるよう交通規制および工事区間に付近にレッカー車の事前配備や非常駐車帯の設置を実施させていただきます。

(24 時間監視の実施例)



(レッカーの配置例)



(非常用駐車帯の設置例)



■ 高速道路のご利用にご活用いただける各種情報のご案内

リニューアル工事に関する各種情報を、テレビ CM、ラジオ CM、ポスター、リーフレット、ハイウェイテレホン、中央道リニューアル工事専用 WEB サイト、横断幕・立て看板・デジタルサイネージ（MIB）などによって、事前にお知らせしてまいります。

また、工事期間中には、中央道リニューアル工事専用 WEB サイトのほか、ハイウェイラジオ、ハイウェイテレホンなどでも工事規制情報を提供させていただくとともに、情報板、路上標識、標識車を活用した工事規制情報や安全に走行いただくための注意の呼びかけを実施いたします。

高速道路を走行される際には、これらの情報を活用し、安全に走行していただきますようお願いいたします。

なお、自動車走行中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はサービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にてお願いします。

（1）中央道リニューアル工事専用 WEB サイト

中央道リニューアル工事専用 WEB サイトを開設し、工事計画情報、工事進捗状況、工事規制区間の所要時間情報のお知らせを実施いたします。また、高速道路ネットワークを活用した広域迂回のご案内や工事区間周辺の一般道のご案内もさせていただきます。

<https://chuo-renewal.com/>

■ 検索例



リニューアル工事専用ダイヤル（工事期間中のみ）においても、同様の情報をご案内します。

（2）NEXCO 中日本公式 WEB サイト

通行料金など高速道路に関する各種情報をご確認いただけます。

<https://www.c-nexco.co.jp>



（3）日本道路交通情報センターの道路交通情報

道路交通情報 Now！（<http://www.jartic.or.jp/>）や電話で道路交通情報をご確認いただけます。

電話番号 全国統一番号 050－3369－6666（携帯短縮ダイヤル「#8011」）

※全国どこからでも、最寄の情報センターに接続します。

（4）i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話の WEB サイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めの発生または解除の際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご活用いただけます。



<https://www.c-ihighway.jp/>

(5) ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要道路の交通情報（5分更新）を24時間入手いただけます。

携帯電話から「#8162 [はい、無事（帰る）]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手いただけます。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

中央道・長野道 情報	八王子局	042 (692) 1620	諏訪局	0266 (57) 1620
	甲府局	055 (275) 1620		
中部地区情報	名古屋局	052 (709) 1620	岐阜局	058 (259) 1620

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話のWEBサイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/main/>



(6) 高速道路上で入手できる道路交通情報

- ⇒ 道路交通情報板
- ⇒ 本工事専用特設情報板（路肩 LED 情報板）
- ⇒ ハイウェイラジオ（1620kHz）
- ⇒ ハイウェイ情報ターミナル（サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）に設置）
渋滞情報をテレビ画面で、わかりやすくお知らせします。
- ⇒ VICS（VICS 対応ナビゲーションなどで、道路交通情報が入手できます）

(7) その他

- ⇒ 道路緊急ダイヤル
高速道路をご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、『#9910』道路緊急ダイヤル（通話料無料）にお電話ください。

■ お願い

(1) ゆとりをもった高速道路のご利用を

工事期間中は、渋滞や迂回により通常より所要時間が多くなるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立てていただき、お出かけ前には最新の交通情報を確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

また、天候および作業進捗などにより工事期間を変更する場合があります。情報板や立看板などでお伝えしてまいります。ご利用の際はお手数をおかけしますが、事前に通行止めや規制情報をご確認くださいようお願いいたします。

(2) 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞後尾での追突事故のおそれがあります。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けてください。



(3) 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する場合があります。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします（2008年6月1日より道路交通法が改正され、後部座席のシートベルトの着用が義務付けられました）。



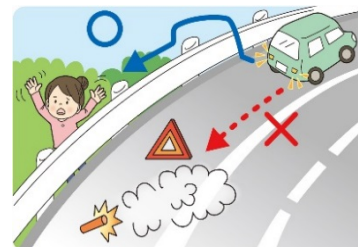
(4) 高速道路上の停止車両や、車外に出ている人にご注意ください！

渋滞や故障、事故などにより停止した車両に後続の車両が追突する事故や、故障や事故などの様子を確認するため車外に出ている人がはねられる事故が多発しています。

(5) 高速道路上で停止した場合は

事故や故障などにより万が一高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください（設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通過して移動してください）。

また、車内や道路に残るのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。避難後は、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いいたします。



(6) 高速道路の逆走にご注意を

行き先や出口間違いをした際の U ターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生し

ています。

万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所や SA・PA などの安全な場所から、110 番で通報をお願いします。

逆走車の情報を見聞きした場合は、速度を落とし、十分な車間距離をとって、前方車両の動向を注視しましょう。逆走車は追い越し車線を走行する傾向があります。

高速道路をご利用される際には、標識や路面標示をご確認いただき、指定された方向への走行をお願いいたします。

また、逆走をしてしまった場合には周囲をご確認のうえハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに 110 番や非常電話で通報をお願いします。



※「故障車」や「落下物」・「道路の破損」などを見つけたら『#9910』にて通報願います。

目的のインターチェンジを行き過ぎてしまった場合は、高速道路上でバックや U ターン（転回）はせず、そのまま走行し、次のインターチェンジで降りてください。インターチェンジ出口では料金所スタッフがいるレーンをご利用いただき、料金所スタッフにお申し出ください。目的のインターチェンジまでお戻りいただけるようご案内しますので、料金所スタッフの指示に従ってください。その際の通行料金は当初流入インターチェンジから目的のインターチェンジまでの通行料金となります。

※インターチェンジの構造などによっては対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

（7）落下物にご注意ください！

落下物の責任は落とした人にあります。出発前や SA・PA などでの休憩時には、車両の点検をおこない、荷物を積載する場合はシートをかけてロープでしっかり固定するなど、走行中にゆるんだり、落下させたりしないよう注意してください。

落下物を見つけた場合は、安全な場所から道路緊急ダイヤル（#9910）に通報をお願いします。通報を受け、高速道路会社の道路管制センターが道路情報板に「落下物注意」の情報を表示するとともに、交通管理隊が落下物を回収します。

（8）「あおり運転」は絶対にやめましょう！

前方の車に極端に接近して運転するなどのいわゆる「あおり運転」は、大変危険です。

車を運転する際は、周りの車の動きなどに注意し、安全な速度での運転を心掛け、十分な車間距離を保つとともに、無理な進路変更や追い越しは絶対にやめましょう。

危険な運転者に追われるなどした場合は、SA・PA など、交通事故に遭わない安全な場所に待避するとともに、警察に 110 番で通報してください。交通ルールを守った、思いやり・ゆずり合い運転を心掛けていただきますようお願いいたします。

以 上